

# 地域学校協働研修会

令和7年7月9日（水）三春交流館「まほら」小ホール 参加者72名

## 講義・演習 「自然と遊ぼう ～室内でできる身近材を使った工作活動～」

講師：森の案内人 佐川 美子 氏

植物の葉や木の枝や実を使って、子どもたちと一緒にできる活動について、講義・演習をしました。

講義では、身近に見られる植物や昆虫の特性とそれらを活用した遊び方を紹介していただきました。エプロンシアターによる昆虫の説明では、参加者が楽しく学ぶ様子が見られました。また、小刀を使った木の枝の削り方や子どもが興味を持てる図鑑の紹介など、新たな知識も得ることができました。

演習の「小枝クラフト」では、小枝を材料にキーホルダーやマグネット製作など、参加者全員で楽しく取り組むことができました。



### <参加者からの声>

- ・身近な自然が「遊び」になることが分かったので実践していきたい。
- ・草木の特性やそれらを使った遊び方について、知識が広がった。
- ・知らない植物や道具の使い方について知ることができたので、今後の活動に生かしたい。
- ・自然のものを使った工作活動を取り入れていきたい。
- ・自分だけの作品を作れることは子どもたちに興味を持ってもらえる。

## 講話 「子どもの“よさ”を育むかわり方 ～ペアレントトレーニングの手法を学ぶ～

講師：福島県立医科大学看護学部家族看護学部門講師 佐藤 利憲 氏

それぞれ個性をもった子どもたちがよりよく成長できる手法として、ペアレントトレーニングについて学びました。

講師の佐藤氏からは、ペアレントトレーニングで一番大切なことは、常に子どもの「よい行動」に着目し、認め、子どもの気持ちの中に、「うれしい」「楽しい」といったプラスの変化が生じるような、ほめ方をする。また、「よい行動に注目する」「無視しない、放置しない」「ほめる」これらはシンプルでありながら、現場で実践するには意識と工夫が大切であるという話をいただきました。

さまざまな子どもとの関わりの中で生じる悩みにフィットした内容は、参加者にとって大変充実した学びの場となりました。



### <参加者からの声>

- ・子どもの行動を観察し効果的にほめる方法について考えるよい機会となった。
- ・決まりを守らない子に注意がいきがちだったが、その他の子への配慮も心がけていきたい。
- ・子どもの行動をよく見ながら、声をかけていきたい。
- ・自分の子どもに対する関わり方を振り返ることができた。
- ・家庭や職場で実践していきたい。